

生ごみは資源

段ボール箱で堆肥づくり

家庭でどうしても発生してしまう生ごみ。
段ボール箱を使って手軽に堆肥にする事が出来ます。
しかも台所で、手に入れやすい材料を使って・・・。
ぜひ挑戦してみてください。

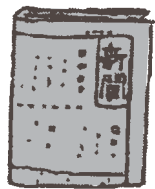


材料



段ボール箱

厚手の丈夫なもの。
4人家族で10kgの
みかん箱ぐらい。



新聞紙

朝刊1日分。



ピートモス



もみがらくんたん

ホームセンターや園芸店で売っています。
「ピートモス」と「もみがらくんたん」の体積比
が6:4になる様に用意します。10kgみかん箱だ
と...ピートモス12ℓ、くんたん8ℓぐらい。



スコップ

先の丸いものを...



布ガムテープ

足

段ボールを床から5cm以上離したいので、
水に強く重さに耐えられる足を用意して下さい。
(家にあるもので工夫して...)



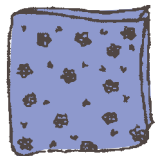
レンガ・木片



園芸ポット入れ

おすすめ!

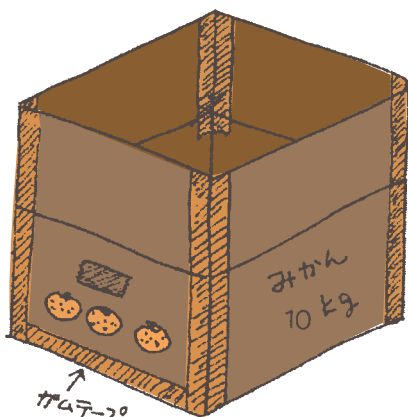
園芸ポット入れをカットして
プラスチックレイと板をビス止めしたものに
乗せ、キャスターをつけた
可動式にしても便利。



布

段ボールのフタになります。
風呂敷でOK...

組み立てよう



- ①段ボール箱のフタの部分を立てる。
- ②布ガムテープでしっかり目張りして、深い箱にする。
(持ち手の穴も表裏ふさぐ)
- ③新聞紙を箱の底の大きさにあわせて折り、中に敷く。
- ④ピートモス・もみがらくんたんを入れる。
- ⑤スコップをさし、布を上からかける。
- ⑥足の上に乗せる。

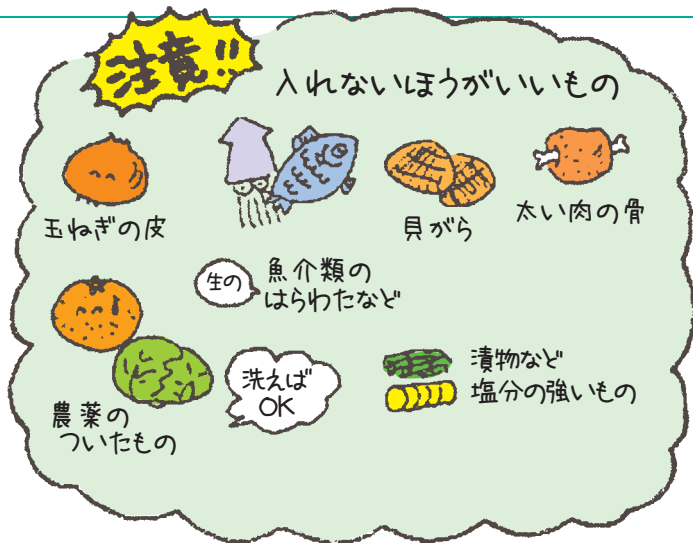
カンタン!!
これだけ!!

完成!!



生ごみを入れよう

- ①生ごみは、なるべく水気を切って入れ、スコップで混ぜ込みます。
※入れたてのものが表に出ていると虫が来るもと。
- ②1～2週間で、温度が上がり、分解が活性化します。あたたかくならなくても、ゆっくり進んでいるので、焦らない、焦らない。
- ③3～4ヶ月経ち、ベトついてきたら堆肥に。段ボール箱も新しく更新します。



どうしよう


虫がわいてしまった! カビが発生!

温度を上げて、虫(卵・幼虫含む)を殺してしまいます。油を1カップほど入れ、よく混ぜます。2～3日すると湯気が出るほど活性化します。ただし少々臭いが出ますが…。カビも同様に、よく混ぜてください。

臭いが気になる!

ピートモスともみがらくんたんを少々加えてみてください。臭いが収まるまで布を外して風通しの良い場所に移す方法もあります。

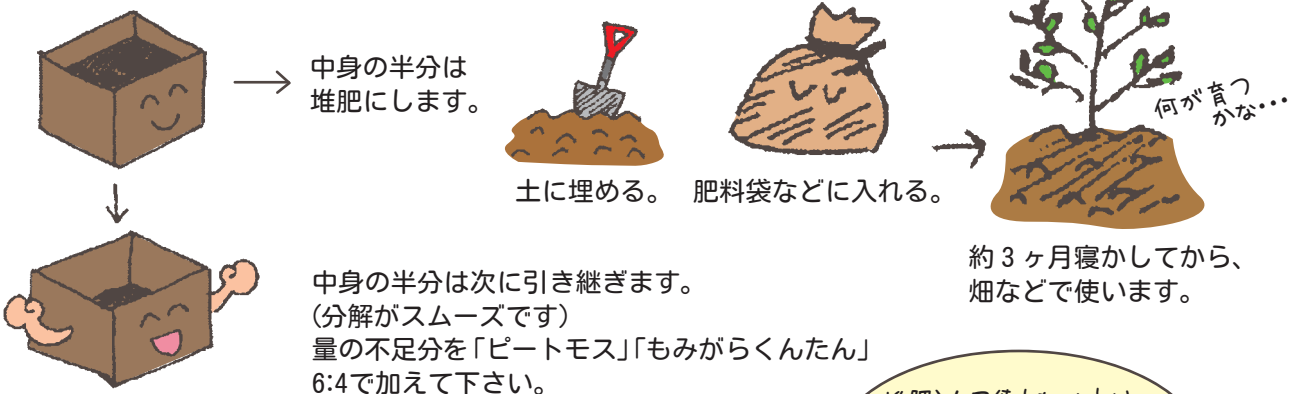
屋外におきたい


 雨のあたらないベランダや物置ならOKです。風で布が飛ばされる様なら、段ボールのフタを作りましょう。(冬の寒さで分解できなくなる事があるかも…)



堆肥を使おう

約3ヶ月で更新時期(まだまだいけそうだったらもちろん延長!!)



 段ボール箱で作る堆肥。ご一緒にいかがですか? やり方も様々あるので、今回は一例をご紹介します。

堆肥として使えない方は燃えるゴミで出します。ちょっともったいないけど量が減った分、スバラシイ!

ごみの減量に
ちよこ挑戦!!